

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】 第 7 部門第 3 区分

【発行日】 令和 5 年 11 月 15 日 (2023.11.15)

【国際公開番号】 WO2023/112226

【出願番号】 特願 2022-531602 (P2022-531602)

【国際特許分類】

H 0 4 N 7/18(2006.01)

H 0 4 N 7/14(2006.01)

【F I】

H 0 4 N 7/18 U

H 0 4 N 7/14

10

【手続補正書】

【提出日】 令和 4 年 5 月 27 日 (2022.5.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

カメラ及びマイクを備えたユーザ端末と、前記ユーザ端末とネットワークを介して通信可能に接続された動物病院端末とを含み、

前記ユーザ端末は、前記カメラが取得したビデオデータ及び前記マイクが取得した音声データを前記動物病院端末に送信し、

前記動物病院端末は、受信した前記ビデオデータ及び前記音声データを出力する、動物患者用遠隔診察システムにおいて、

前記ユーザ端末と前記動物病院端末との通信は、前記ビデオデータの情報量を第 1 のデータ量とし、前記音声データの情報量を第 2 のデータ量とする第 1 の通信モードと、前記ビデオデータの情報量を前記第 1 のデータ量よりも大きい第 3 のデータ量とし、前記音声データの情報量を前記第 2 のデータ量よりも小さい第 4 のデータ量とする第 2 の通信モードとに少なくとも切替が可能であり、

30

少なくとも前記動物病院端末の切替操作に応じて、前記動作モードの切替がなされ、

前記第 2 の通信モードにおける前記ビデオデータの解像度は、前記第 1 の通信モードにおける前記ビデオデータの解像度よりも高く、

動物患者の動物種に応じて前記解像度が決定されること、

を特徴とする動物患者用遠隔診察システム。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の動物患者用遠隔診察システムであって、

40

前記第 1 の通信モードにおける前記ビデオデータ及び前記音声データの少なくともいずれかの符号化方式は、前記動物患者の前記動物種に応じて決定されること、

を特徴とする動物患者用遠隔診察システム。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 に記載の動物患者用遠隔診察システムであって、

前記第 1 の通信モードにおける前記ビデオデータ及び前記音声データの少なくともいずれかの符号化方式は、診療内容に応じて決定されること、

を特徴とする動物患者用遠隔診察システム。

【請求項 4】

請求項 1 ないし 3 のいずれか 1 項に記載の動物患者用遠隔診察システムであって、

50

前記第 1 の通信モードにおいて前記音声データは波形符号化により符号化され、前記第 2 の通信モードにおいて前記音声データはハイブリッド符号化もしくは分析合成符号化により符号化され、又は、

前記第 1 の通信モードにおいて前記音声データはハイブリッド符号化により符号化され、前記第 2 の通信モードにおいて前記音声データは分析合成符号化により符号化されること、

を特徴とする動物患者用遠隔診察システム。

【請求項 5】

カメラ及びマイクを備えたユーザ端末と、前記ユーザ端末とネットワークを介して通信可能に接続された動物病院端末とを含み、

前記ユーザ端末は、前記カメラが取得したビデオデータ及び前記マイクが取得した音声データを前記動物病院端末に送信し、

前記動物病院端末は、受信した前記ビデオデータ及び前記音声データを出力する、動物患者用遠隔診察システムにおいて、

前記ユーザ端末と前記動物病院端末との通信は、前記ビデオデータの情報量を第 1 のデータ量とし、前記音声データの情報量を第 2 のデータ量とする第 1 の通信モードと、前記ビデオデータの情報量を前記第 1 のデータ量よりも大きい第 3 のデータ量とし、前記音声データの情報量を前記第 2 のデータ量よりも小さい第 4 のデータ量とする第 2 の通信モードとに少なくとも切替が可能であり、

少なくとも前記動物病院端末の切替操作に応じて、前記動作モードの切替がなされ、

前記第 1 の通信モードにおける前記ビデオデータ及び前記音声データの少なくともいずれかの符号化方式は、動物患者の動物種に応じて決定されること、

を特徴とする動物患者用遠隔診察システム。

10

20

30

40

50